弁当でなければ・・・・
麦ごはん　豚丼の具
海藻サラダ
かぼちゃのマフィン

ほぼ日刊　夢の華
carrot

第７５７号
神町中学校　夢色通信社
令和２年 11 月 13 日

新生徒会を語る

ム・ネッティ社長の対談相手は、昨日は神町中学校の生徒会執行部の面々でした。

出席者	
生徒会長	藤原康太
副会長	佐藤陽太
副会長	武田真宝
議長	小関健矢
事務局長	須藤真央
事務局員	浅野彩寧
	設楽旦陽
	髙橋利緒
応援団長	澁川　楓
	髙橋虹来
	東海林真詞

ﾑ･ﾈｯﾃｨ：生徒会執行部の皆さん、今日は、「目指す生徒会」について、お聞かせ願えればと思います。

旦陽：普通の会話の中で、良い意味で話題になるような生徒会にしたいと思っています。

康太：僕は、生徒と生徒会の壁をなくしたいと思っています。皆が同じ目線で活動ができればなぁと。

真宝：私も同じで、生徒会の情報や考え方を、生徒全員で共有できる生徒会をつくっていきたい。

陽太：僕は「楽しむ生徒会」かな。例えば勉強にしても、学びの楽しみを感じられるように。大変なことも楽しみがあるから頑張れるし、それが自分の成長につながっていくのだと思う。

彩寧：私も賛成。１つ１つの活動に、みんなが楽しんで取り組める生徒会をつくっていきたい。

旦陽：そうだな。本気で取り組むことの楽しさをみんなで感じていきたいな。

真宝：先輩方みたいなビシッとした生徒会とは違う、「柔らかな生徒会」かな。全校生の声を聴き、フレンドリーで発想も柔らかな生徒会にしたいな。

健矢：それに加えて「めりはりのある生徒会」も大事だと思う。楽しむことは楽しむ、しっかりする時はしっかりする生徒会にしていきたい。

虹来：会長が「壁のない生徒会」と言っていましたが、まだまだ１年生は、生徒会活動に興味がない人もいるし、仕事の内容がわかっていない人が多いように感じます。

楓　：楽しいことは積極的に取り組むけど、辛いことや苦しいことは苦手という１年生が多いのかもしれない。活動は面倒くさいだけじゃなく、楽しいということを伝えていきたい。

ﾑ･ﾈｯﾃｨ：実際、代が変わって活動を始めてみて困っていることはありませんか？

利緒：朝のあいさつを返してくれない人がいます。スルーされるとちょっとショックですね。

真宝：学級の中や友達の中にも、まだまだ壁があるように思います。

康太：全校生徒で、神中生の在り方について考えていくことも必要かもしれないな。

利緒：お互いの良いところを見て生活していくことが大事だと思います。

康太：先輩方は、ボランティアプロジェクトをするにも、30 分以上話し合い考えを詰め、内容の濃いプロジェクトをつくっていました。見習っていきたいなと思っています。

真詞：仕事もきちんとしていました。真面目に取り組む姿を見習いたいと思います。

楓　：先輩方が、協力しながら活動していたところがすごいと思いました。

虹来：先輩方が神中の伝統を守ってきてくれたことがすごいと思います。大変だったんだろうなと思います。これからの私達はもっと大変かもしれませんが、頑張っていきたいと思います。

ﾑ･ﾈｯﾃｨ：さらに素晴らしい、神中の伝統を築き上げてください。今日は、ありがとうございました。